

徳島文化芸術ホール（仮称） 県民ワークショップ通信

第4回
（一般対象）

徳島県では、令和8年度の開館を目指し、文化芸術の発信や、にぎわいづくり等の拠点として、「徳島文化芸術ホール（仮称）」の整備を進めております。

現在、施設が行う事業や、管理の方法などをまとめた「管理運営計画」の策定に向けて検討を行っており、県民の皆様の声を「管理運営計画」に反映させるため、「新しい文化芸術ホール（仮称）への期待」をテーマに、県内各地でワークショップ（全4回）を開催しました。

テーマ：「徳島文化芸術ホール（仮称）への期待」

～「どんなふうに利用したい？」～
～「どんなことをやってほしい？」～



第4回の県民ワークショップは、10月2日（日）にとくぎんトモニプラザで開催し、県内2市3町に居住する20代から80代までの20名が参加しました。

徳島県から基本設計の概要等を説明した後、参加者は3班に分かれ、ワークショップのテーマに基づいてグループワークを行い、最後には、各班ごとにグループ発表を行いました。

参加者からは、「どんなイベントに行きたいか」や、「どうやったら利用しやすいか」、「地域にとって新ホールはどんな存在になってほしいか」などの問いに対して、地域ならではの意見が寄せられるとともに、実際に施設を利用する立場から、運営ルールや交通アクセスのみならず、設計内容に対しても、幅広い意見が多く寄せられました。

グループワークでの意見の紹介

どんなふうに施設を利用したい？

◆ ホールや諸室の利用

- 発表会や演奏会でホールの舞台に立ちたい
- 合唱、ダンスなどの練習での利用
- ワークショップなどへの参加
- 仕事帰りに公演を観たい
- 高齢者や認知症の方などの発表の場
- ボランティアスタッフやアルバイトなどで関わりたい
- コンサートの企画での利用

◆ 日常生活で利用

- 何気なく立ち寄れ、散歩道として楽しめるオープンな環境にしてほしい
- 県民主体の活動にも使える施設にしてほしい
- 人が集い、交流できる場になってほしい
- 公演時以外にも利用できるカフェがほしい

- カフェで提供するものにもこだわってほしい
- 子どもや親子で楽しめる場になるといい
- 自習などで気軽に使える場になるといい
- ホワイエなどにストリートピアノがあるといい
- 災害時の避難場所

◆ 運営ルール

- 使いやすい利用料金の設定をしてほしい
- 演奏コンクールで、四国大会以上に出場する学校には、練習用に無料で貸出をしてほしい
- トライアル公演は、使用料を半額にしてほしい
- 仕事終わりに利用できるよう、閉館の時間を夜遅くに設定してほしい
- 窓口カウンターに常駐の職員を置いてほしい
- チケット半券で駐車場料金を割引にしてほしい
- フリーで使えるロッカーがほしい

どんなことをやってほしい？

◆ 鑑賞機会提供

- 質の高い公演。様々なジャンルの公演
- 吹奏楽や演劇などのコンクールや、全国大会
- 大ホール、小ホールで毎週公演を開催
- 託児付きの公演
- オペラと美術など異ジャンルのコラボ
- 映画の鑑賞会
- 専属のウインドアンサンブルなどの創設
- モーツァルト、ベートーヴェンなどの公演
- こけら落とし公演にもこだわってほしい
- 文化芸術の発信拠点、県外にも誇れる施設になってほしい

◆ イベント開催

- 楽器の演奏などの体験イベント
- 高齢者も通えるようなイベント
- 外国人との交流の場。異文化を知るイベント
- 海外から事業に関わる演者に移住してもらう

- マルシェや川の駅をつなぐイベント
- 建築見学会や建築家の講演会など
- プロデューサーの人選にもこだわってほしい
- 新駅は、高德線や徳島線と直通運転にするなど利便性を高めてほしい
- JR、県内大学など関係団体との連携

◆ 普及・次世代育成

- 県民の文化レベルの向上や裾野を広げる事業
- 学校や高齢者に向けたアウトリーチ
- 子ども向けの演劇ワークショップ
- アーティストインレジデンスや学生の合宿
- 地域とつなぐコーディネーターの配置

◆ 情報発信

- 分かりやすく使いやすいHPを作してほしい
- 広報誌、SNS、垂れ幕などを活用した情報発信
- オリジナルグッズを充実させてブランド化

設計への希望

- 「使いやすさ」を第一に設計すること
- 音響や音質にこだわること
- 小ホールは、暗転できるようにすること
- 搬出入のトラックが無理なく入れること
- テラス間の移動がしやすい動線とすること
- 駐車場は、使いやすいように配慮をすること
- イベント時にトイレが混雑しない数を設置
- ホールの座席は、前の人の頭や手摺りが視界を遮ったりしないようにすること
- 可動式の花道、奈落、せりなど、歌舞伎や和物に対応した設備の設置

- 楽屋からステージまでの動線をスムーズに
- 大会やコンクールなど、大人数が出演するイベントにも配慮した設計にすること
- ホワイエを展覧会等にも活用できること
- テラス上での防災対策もしっかり考えること
- ユニバーサルなホールを目指すこと
- 駐車場、座席の選択の幅、楽屋まわりなど、車椅子利用者等への配慮をすること
- 障がい者、外国人に向けたメッセージボードや言語ボードの設置
- 案内表示は、高齢者の声も聞いて計画すること

いただいたご意見は、管理運営計画策定の参考とさせていただきます。ありがとうございました。

【お問い合わせ】

徳島県 未来創生文化部 文化・未来創造課
TEL:088-621-2249 FAX:088-621-2934



新ホール整備の概要は、徳島県のHPをご覧ください。